第4回 しんぐるまざぁずフェスタ in ふくやま

実施報告書

2022年２月 12日

NPO 法人こどもステーション

助成：独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

後援：エフエムふくやま

―― 企画概要 ――

・名称　第4回しんぐるまざぁずフェスタ in 福山
・日時　2022年２月 12日(土)9:50～15:40
・会場　広島ガス東中国(株)ハートラボ内
・概要　フードドライブ＆相談、からだほぐし・バッチフラワーレメディ、アクセサリーワークショップ、お弁当渡し、託児
・目的　シングルマザーと子どもたちが「シングルでも幸せに暮らしていいんだ!」と実感できるようエンパワメントする
・対象　シングルマザー＆プレシングルマザーとその子どもたち

―― 開催結果 ――

参加者数：29 世帯 ＋ 子ども 34 人
満足度 ：大変満足 77.8%、やや満足22.2%
スタッフ数：9名
　総合：1
　受付：4
　託児：2
　フードドライブ・相談：2
ボランティア：7名
　託児：1
　学生：6(フードドライブと託児)
施術者：4名
　からだほぐし：1
　バッチフラワーレメディー：1
　アクセサリーワークショップ：2
ご参加いただいた議員様：2名
メッセージをいただいた議員様：15 名(衆議院議員 1 名、県議会議員 10 名、市議会議員 4 名)

アンケート回収数：28通

お渡ししたお弁当数：75 食／29 世帯分
フードドライブへのご寄付：15 寺院と 1 組　5 企業　3 団体　　個人 24 人

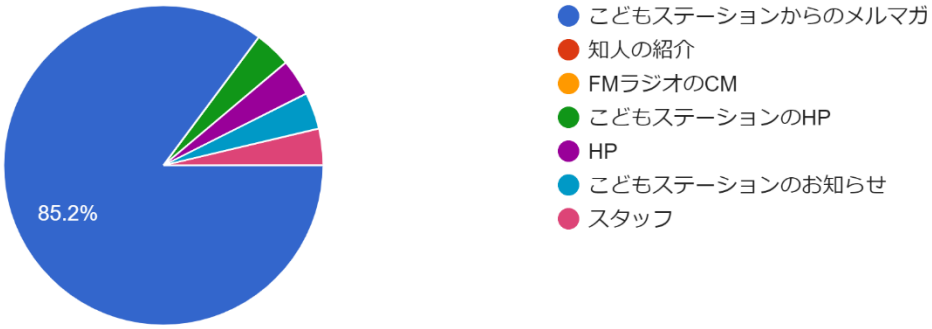
告知方法
　シンママ向けメルマガ送信　148通(2 回)　FM ふくやま CM　2 週間　33 本(約 20 秒)
　1 月 25 日　FM ふくやま「こどもステーションのもこちゃんねる」
　チラシ配布　福山市内保育所・こども園・幼稚園、イコールふくやま、福山市議会議員、広島県議会議員、福山市内寺院、これまでご寄付いただいた方、他

アンケート結果／当日の様子（写真）／議員の皆様からのメッセージ紹介／スタッフの意見など

参加者アンケートから

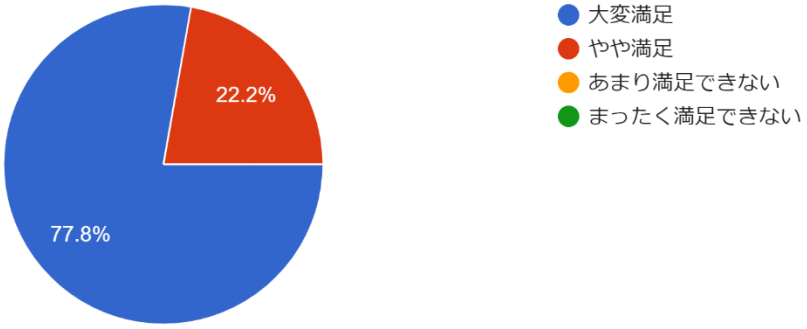
Q１．本日の企画を何でお知りになりましたか？

27 件の回答

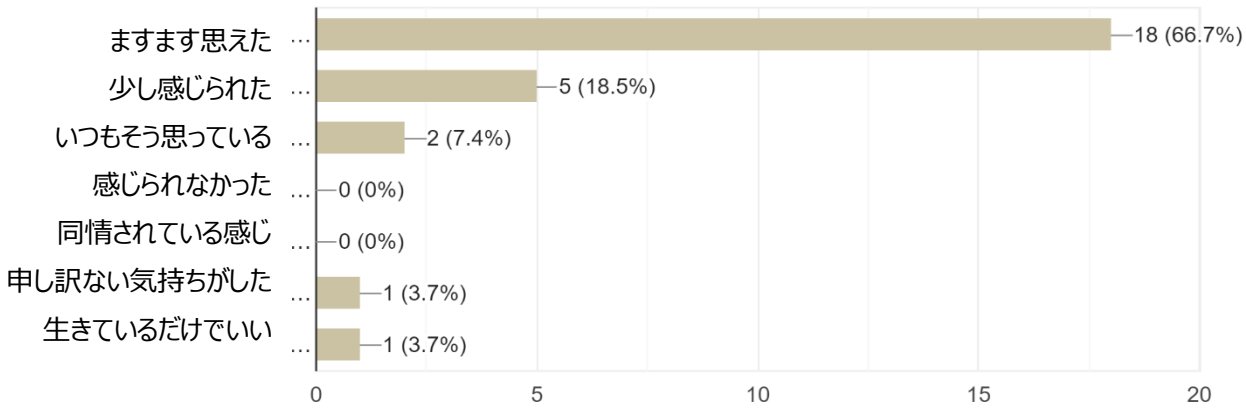


Q２．本日の企画は全体的に満足いくものでしたか？

27 件の回答



Q4．今回の企画のテーマは、「シングルだって、コロナ禍でも、楽しく暮らしたい！」でした。
イベントに参加して、気持ちに変化はありましたか？



Q3. (Q2)の理由について自由にご記入ください

≪大変満足の理由≫
・お弁当がものすごい豪華でした!! マッサージ気持ちよかったです! 子どもが久しぶりに人と遊ぶので、ものすごい喜んでました! ・豪華な弁当と食材をいっぱいいただけたので ・私は 1 人じゃない。声を出せば手を差し伸べてくれる人達に会え、元気もらえるから。 ・コロナ禍で開催されなくても仕方のない状況にありながら、感染対策をとって開催してくださったことに感謝しかありません。 ・託児もあり、からだほぐしもフードドライブも心置きなく出来ました。お弁当が頂けたのも良かったです ・蔓延防止のこの状況の中で色んな配慮をされ、イベント開催をしてもらえたこと。 お弁当が豪華だったこと。普段、節約して我慢するような物品が沢山あったこと。 沢山の寄付があって「応援しているよ」と言ってもらっているように感じたこと。 ・I could feel refreshed from the body loosening activity and getting to meet and see others. ・沢山の食品や、日用品を貰えて、とっても助かります。 アクセサリーも、可愛いし、マッサージも、気持ちよかったです! ・コロナ渦の中、体調管理や時間管理をしっかりしていただいて、親も子も楽しめました。 ・揉みほぐしとか、普段体験出来ないことが体験できた。 お弁当がとてもおいしいかった。 ・たくさんの人と関わることができ、元気をもらえたから。 ・からだほぐし気持ち良かったです♡ フードドライブも、普段買えないものや、日用品もいただけて、とても助かります。 ありがとうございました。 ・豪華な弁当と食材をいっぱいいただけたので ・フードドライブも沢山貰えたし、お弁当も豪華でとても美味しかったです。アクセサリーまで頂いてありがとうございました。 ・子どもも楽しく遊ばせてもらえたみたいだし、私も大変満足です。 ・いつもなら出来ない体ほぐしとか、自分の為に時間を使ってリラックスできたし、かわいいアクセサリーや沢山のフードバンクを頂いて嬉しかったです。 ・昨年、はじめて参加しました。前回よりも、コロナ感染が増えている中でしたが、参加できるイベントが一つ増えており、とても楽しみにしておりました。 ・託児もあり、フードドライブも沢山頂けて、とてもありがたかったです。 ・普段ちょっと買えないなぁと思う様な、ママ用のお菓子もフードバンクのおかげで、食べれたり、お弁当も凄く豪勢で、作ったりする手間が楽させてもらったり、ちなみに、豪勢で。昼と晩ごはんにさせてもらいました。 ピアスもかわいいのが沢山あって、荷物も、学生さんが運んでくれて、凄く助かりました。コロナで、こども達が、『もこルームなのに、他のお友達が居なかった・・・』って寂しがってました。 私も、人に会えないから、寂しかった。 ・リフレッシュできました

≪やや満足の理由≫
・あっという間のママフェスタでした。 ・こんな時期なので仕方ないですが、時間が短かったので少し残念に思いました。 ・コロナ禍の中、開催していただきとても感謝しています。ありがとうございました。 コロナ禍で感染防止の為、時間制限があったので仕方がありませんが、ゆっくりまったりと過ごしたかったです。 コロナが早く収束しますように…。 ・豪華なお弁当に子どもたちがすごく喜んで、子どもたちがこんなに喜んでいるのを久しぶりに見れてよかったなと。ありがとうございました。

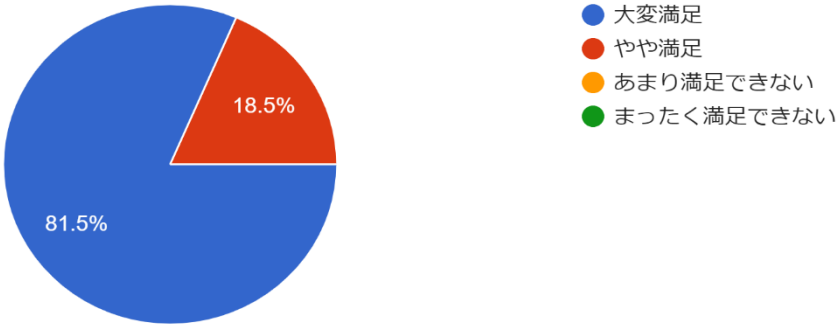
大好評のお弁当
“洋食工房くつろぎ”

Q5. (Q4)の理由について自由にご記入ください

≪「私(と子どもたち)は、大切にされていい存在なんだ」とますます思えた 理由≫
・子どもと少しの時間離れて自分の時間が持てて、自分へのお土産をもらうことができたから。離れた間の子どもたちはスタッフさんたちからあたたかい関わりをしてもらうことができたから。 ・自分も子供達も幸せでいるために今の生活を選んだけど、たまにしんどい時もあって、そんな時に「もこルーム」に行って沢山の話を聞いてもらったりしているので。 ・お話を聞いてくれる方がいて仲間がいると思えて頑張ろうという気持ちになりました ・みなさん、私にもですが子ども達にも優しく接してくれ嬉しかったです。 ・思いは、「そうなんだ!」と「そうなんだよね?」の行ったり来たりです。 ・楽しい時間を過ごせたから。 ・中々シングルの人とは、出会えないので(口外しないから)沢山の仲間がいると安心できた ・シンママでも、凄く大切にされてる感じがあって嬉しかったです。 ・まず、こんな企画があることが素敵ですよね。" ・認めてもらえてるんだなー、と思いました。 ・親切に対応して頂きありがとうございました。 ・ネットでひとり親支援のニュースなどを見て、コメントをみると否定的なコメントが溢れている。「苦しいのはひとり親だけじゃない」「勝手に離婚したくせに」と言うコメントに「いいね」が沢山ついている。そんなコメントは見なければいいけど、どうしても見てしまう。ひっそり生きていないといけない気持ちになる。「大きなお世話だ。好きに言えば?」と思っても子育て中、旅行や遊んだ話しは、「そんなお金あるんだ」と思われるかも‥と思うと言えず、こどもも黙っていることが多かった。こうして大きく「楽しんでいいんだ!」と言ってもらうことは、前向きな気持ちが充電される。 ・スタッフの方々が、いつもとても優しく声かけてくださり、大切にされていると感じました。

Q6.　本日のフードドライブ・相談対応は満足いくものでしたか？

27 件の回答



フードドライブ・相談の様子

6

事前に贈っていただいたご寄付の品々

Q7.フードドライブ・相談対応の感想

経済的に苦しい中、種類もたくさんあり、楽しみ（お菓子）も選びながら、頂きました。
たくさんの物があり選ぶことができたから。
たくさん頂けて助かりました。貰っていて使わないような物がないので、どこまで貰っていいのかすごく悩みました。
ワクワクウキウキしました☺ 欲しかった洗剤、油、助かりました。ドリップコーヒーが飲みたくて、自分では贅沢で買わないので、嬉しかったです。家に帰ってすぐ飲みました。幸せです。
いつもなら買わないようなお菓子とかが沢山あって、子ども達もすごく喜んでいました。
買えないけどあったら嬉しい物があり、色々見て回れて楽しかったです
フードドライブは生活に必要な物を無償でいただけ、本当に助かります。
いつもフードドライブ大変助かっています。こどもたちがすごく喜んでいました。
遅れての参加でしたが、良く対応して下さりありがとうございました。
もう少し落ち着いてお話ししたかったです。
たくさん生活物資をもらえて、話も聞いてもらえました。またみんなで集まれるようになれるといいな。
種類ごとに分かれていて、満遍なく頂く事が出来た
ほんのちょっとした事でも、やっぱり、「どう？」って聞かれて、ちょっと愚痴をはかせてもらったけど、言えた事で気持ちがスッキリしました。
フードドライブでは必要な物をたくさん頂きました。食品は毎月何かが値上がりしている状況です。小麦粉、海苔、コーヒー等、買わずに待っていて良かったです！ お菓子もたくさん頂きました。はじめまして♪のお菓子にも出会えました！家に帰ると子どもたちは、じゃんけんしたり話し合いをしながらお菓子を分け合っていたので、ほっこりしました。
やはり、時間が短かったですね。
車まで運んで頂いてありがとうございました。
限られた時間の中でも色々な準備をして頂いていて、スムーズに動くことができました。
高級なお菓子、調味料、のり、つくだ煮、お味噌汁など・・いつもは我慢する物を頂けました。心満たされております。つくだ煮やのりは、毎日、会社に持参するしょぼい弁当もリッチな気分になる。
たくさん頂きました。選ぶのが楽しかったです。相談員さんと談笑している間に、品物を持ち帰りしやすいようにまとめてくださいました。その早業にビックリしました（笑）
「沢山もらってね」と、声をかけてくださり頂きやすかったです。近況も子供の事など気にかけてくださりありがたかったです。
買わなきゃいけなかった物が貰えました。 お菓子や果物等も 普段中々買わないので、子供達がとても喜びました。

シングルマザー＆プレシングルマザーのみなさん、

貴重なご意見をありがとうございました。

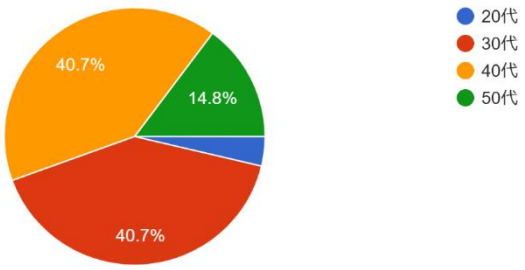
～たくさんのご寄付をありがとうございました～

ご寄付いただいた　お寺・企業・個人様紹介

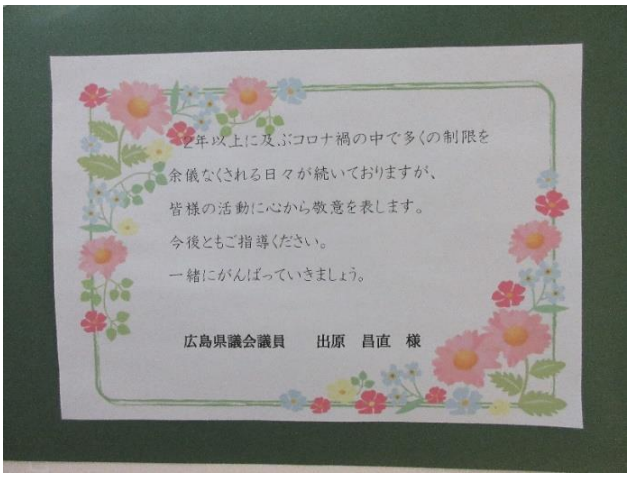
フェスタ終了後には、　“参加できなかった方のための”食品支援を行いました。

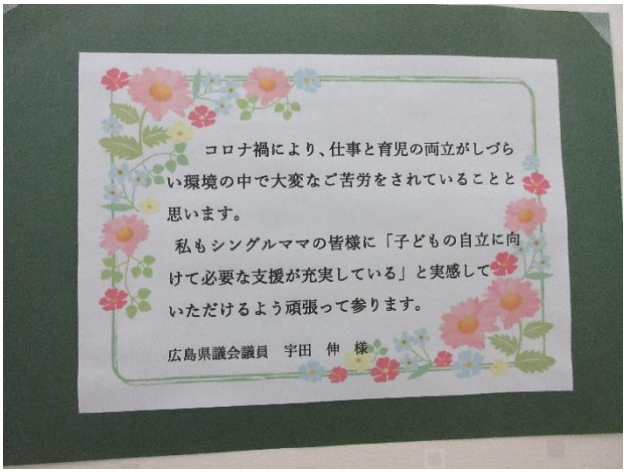
Q11. 運営方法について
今年もホントにありがとうございます。２回目の参加でしたが、普段　子ども達に買わない物も食べれて　大喜びしていました。子ども達の笑顔が見れて良かったです。うちは　子どもが多いにも関わらず　いっぱい持って帰らせて頂き、誠にありがとうございます。後の人に残らないのでは??と不安になりながら　沢山頂きました。本当にありがとうございました m(_ _)m
今回も全てありがとうございます。蔓延防止中にも関わらず、配慮しながら開催してくださったこと感謝します。人と関わらない日々で、人の暖かさが例年にまし、感じました
持ち帰りの物の準備がスムーズで助かりました。
皆さんの声を聞くとホッとします。
いつでもどこでも笑顔で迎えて頂きありがとうございました。大満足のひとことです。
全てスムーズでした
安心してお任せしてました。
I everything was well organized and thought of. Otsukaresamadeshita.
皆さん、とっても優しいし、いつも助けて貰ってるし、ホントありがたいです。ご飯も、美味しかったです。
娘は、託児は行く前は恥ずかしがっていたけど、高校生のお兄さんに遊んでもらえたのがすごく楽しかったみたいで、行って良かったと言ってました。
一人一人のスケジュール表があったので、来場者もスタッフも分かり易い仕組みでよかったと思います。
ボランティアの学生さん、重たい荷物を嫌な顔せず運んでくれ、助かりました。
託児は、子供も楽しかったと喜んでました！ 学生ボランティアさんにも良くしてもらい、ありがとうございました。
スムーズに運営されていて、凄いなーと思いました。
色々本当ありがとうございました。とても良い時間を過ごさせていただきました。お弁当もとても豪華で美味しくって、久しぶりに子ども達とも会話が弾み楽しく過ごせました。素敵な１日を過ごせました。 お米もすごく助かります。感謝します。 重たい荷物も嫌な顔せずに運んで下さったり、フードバンクも「もっといいよー」とか、沢山のお気遣いをして頂けてほんとにありがとうございました。
コロナ禍での開催、工夫して開催してくださってありがとうございました。もう少しゆっくりしたかったというのが本音です。
特にありませんが、昨年よりも限られた場所で、コロナ対策も考慮され、苦慮されたのだろうなと思いました。開催頂いたこと、大変感謝です。
学生さんなどもスタッフとして頑張られていて、社会勉強になってとても良いと思います。

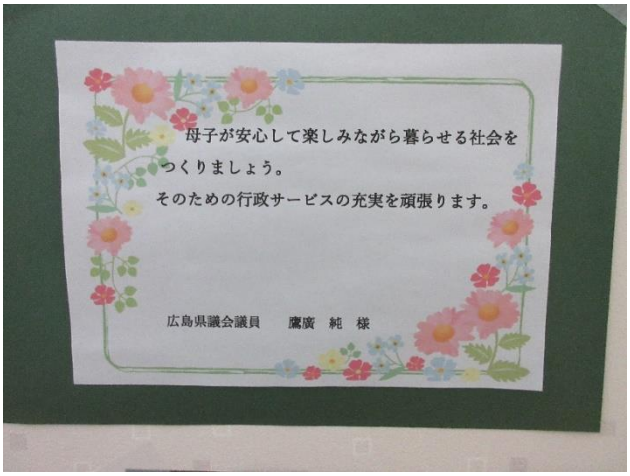
Q12.あなたの年代を教えてください

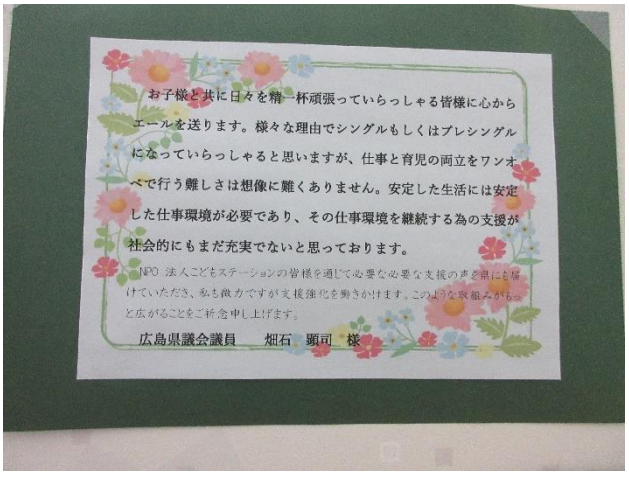


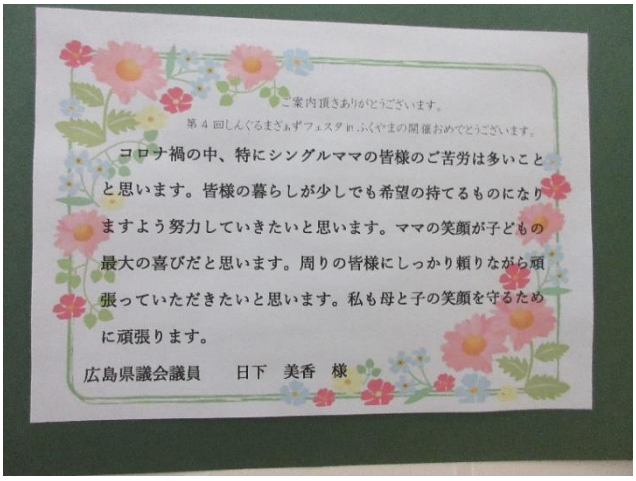
議員のみなさまからのメッセー紹介(衆議院議員・県議会・福山市議会議員　あいうえお順)

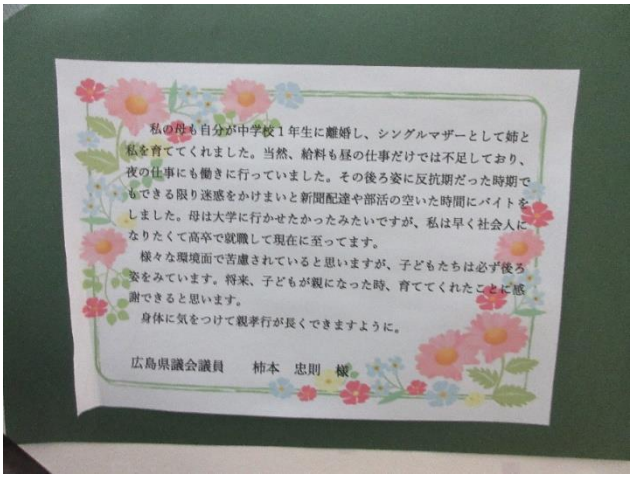


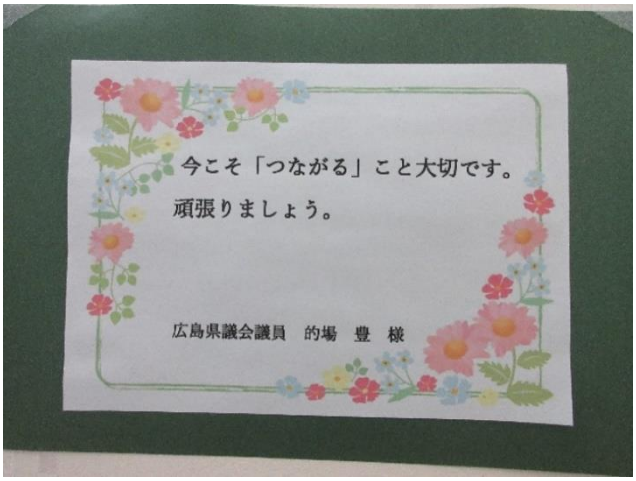




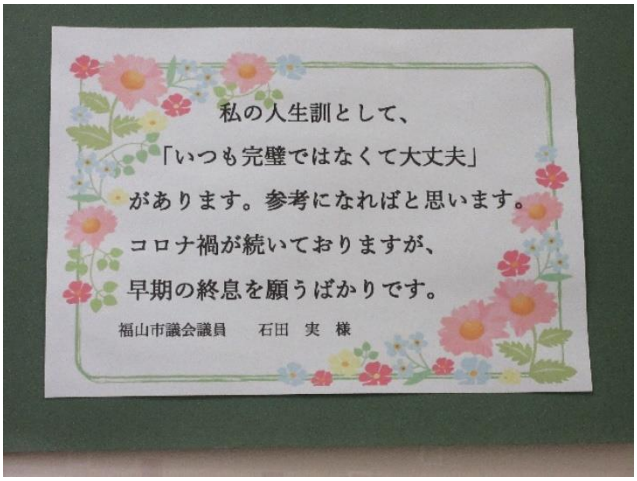


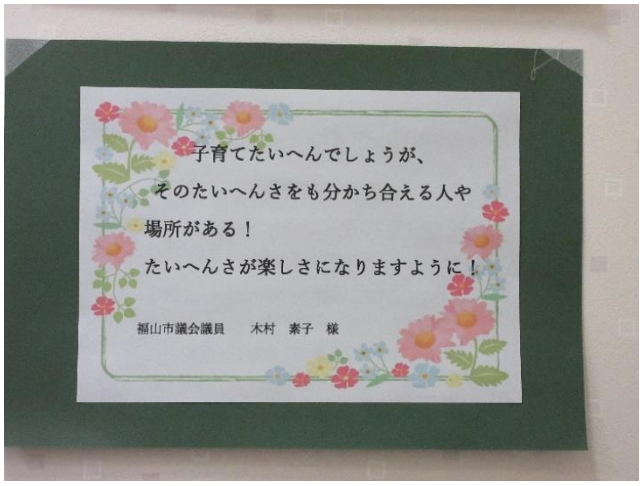


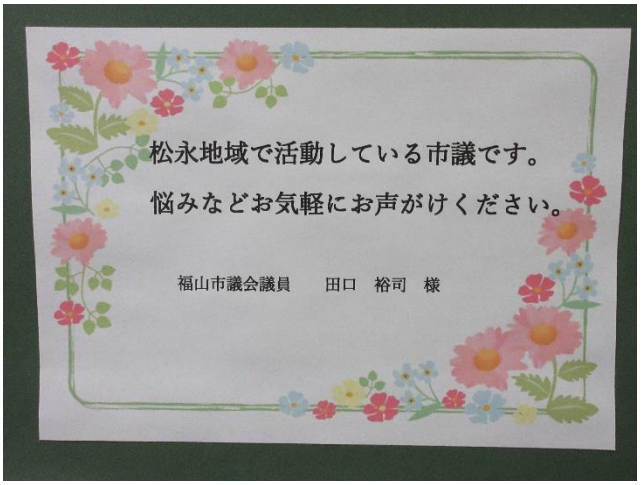




福山市議会議員　石田実様と理事長







スタッフの意見

コロナ禍での開催についてどう思うか？

・求めているママたちがたくさんいたこと、こちらも対策を十二分にして開催し、ママたちもそれに応えてくれたことはとても良かったと思う。
・来場される方々に笑顔があり、楽しまれているように感じられてよかった。
・短い時間だと承知の上、「それでも参加したい」と思った方が沢山おられたので、開催できてよかったと思います。 一旦、開催が途絶えてしまうと、「いつもやっている」安心感が切れてしまうので、ほそぼそとでも継続することは意義があると思います。
・フェスタの開催を望んでいるしんママがいることがわかりました。
・利用者の喜んでいる姿を見ると開催して良かったと思ったが、フェスタ当日の朝を迎えるまでは、もし自分や家族に発熱や風邪症状がでたらどうしよう・・とすごくプレッシャーでした。今年は特に、福山市での感染者が多く学級閉鎖も身近にある状況下での開催だったので。
・ママ達の疲弊度は尋常なものではないはず。コロナ禍でなくても大変なのに。少しでもホッとする時間が持てたらと願っていたので、開催できたのはよかった。
・自粛が続き気分が下がっていた所のフェスタ開催だったので、一層やり甲斐を感じることができました。これ以上出来ないくらいの感染予防だったと思います。私は安心につながりました。

スタッフとして参加しての満足度のその訳は？

・スタッフ全員の素晴らしいチーム力を見ることができました。こんなに素晴らしいチームは他にないと思えました。福山市市議会議員の方のご参加や、県議会議員の方がたくさんメッセージを送ってくださったことはありがたかったです。ママたちが皆笑顔で帰って行かれたこと。子どもたちが皆満足気だったこと。フードドライブの呼びかけにたくさんの寄付が集まったこと。準備がナントカ間に合ったこと。
・コロナの影響で、規模は縮小されましたが、工夫と知恵と努力と協力に加え、様々なアイデアを出し合って開催できたから。
・満足な点は、いつもより狭くてもみんなで協力しあえている実感がわいてとても良かった。 チームワークを感じられるのはエンパワーされることだと思いました。 マイナス点は、前日の会議で流れがわかってなかったので少し不安だったのと、事前準備が大変だったのに参加できなくて申し訳ないと思ったこと。
・フードドライブやお弁当渡しの時、「こんなにもらえて本当に助かります！」といった声を直に聞けたので。
・今回も前年同様、コロナ禍での開催となり、スタッフで『新型コロナウィルス感染拡大防止に関する聞取り』なども作成し、準備～開催まで関われたこと。心地よい達成感が味わえました。
・フェスタのスタッフは思いやりにあふれていて、準備から後片付けまで見事なチームワークでした。わたしもスタッフのひとりとして参加できて満足です。学生ボランティアさんから「来年も参加したい」と言ってもらえたのも喜びでした。

託児についてよかった点は？

・可愛らしい動物の時計や紙でできた時計を使って、子どもたちに終了時間をしっかり示して、時間の区切りがつくように遊んでいたこと。2 階もこルームと、1 階商談コーナーでは、遊びの道具・広さを変えて、その内容を工夫して、子どもたちがもの足りない気持ちにできるだけならないように工夫されていたこと。ボランティアの学生たちが、子どもたちに向けるまなざしがとてもやさしく温かかったこと。赤ちゃん専門の託児者がいて、安心して任せることができたこと。などなどなど

・受付からすぐに学生さんへの引渡しができたので、流れがスムーズで、余分な時間を取らなくてすんだこと。

・いつもと違うもこるーむに泣き出した子にも、もこママさんが難なく対応していて素晴らしいと思いました。

・学生ボランティアがこども預かり、受け渡しを全てやってくれたところが良かったです。受付としてはお母さんへ説明をすることに専念できました。

・託児での密を避ける事と、フードドライブ時はママと子ども達の場所を入れ替えることでママが子どもの目を気にせずにフードドライブや相談が出来たことは、とてもよかった。 短時間での移動は大変だったと思うが、託児者の対応が素晴らしかった。

・学生ボランティアさんがいてくれたので全体を見渡すことができました。時間割を作ってもらってたのが大変助かりました。また、手作り時計を貼ることで終了時間を示せました。それによってスタッフや子どもたちが次の動作にスムーズに移ることができました。

2 階もこルーム　託児室

ママが 1 階で「フードドライブ」をしている時、子どもたちは 2 階のもこルーム、 ママが 2 階で癒しの時間を過ごしている時、子どもたちは 1 階の託児コーナー。

15 分ずつの入替制で、託児を担当した学生ボランティアと一緒に移動して、30 分を過ごしました。

1 階　託児コーナー

15 分という短い時間で子どもたちが遊びをうまく切り替えられるよう、2 階では体を使った遊び、1 階ではお絵描きや短いゲームなど、遊び方に配慮しました。

フードドライブ・相談についてよかった点は？

・今回、ご寄付がたくさん集まったこともあるが、第 1 グループから十分な品物が食品群ごとに置いてあり、第 2 グループ以降の補充も十分されていたこと。なにより、「次のグループではこの箱の物を出します」とあらかじめ用意されていたこと。相談員の方が、優しく寄り添って話を聞きながらママたちが満足いくまで回ってくれていたこと。ボランティアの学生が車まで荷物を運んでくれたり籠から段ボールに詰め込んでくれたりしたこと。「籠 2 つ分」は持って帰っていいという目安があり、控えめなママも遠慮することなく食品を選ぶことができたこと。広島ガス東中国(株)様が、食品のご寄付の置き場として、ハートラボを約 1 週間貸してくださったこと。今年は、福山市内のすべてのお寺さんに寄付の呼びかけができたこと。ご寄付をいただいた方・お寺さん・企業さんの名前が大きく掲示してあり、たくさんの方がしんママとその子どもたちを応援してくれていることが見える化できたこと。などなどなど

・フードドライブにカート方式を取り入れたこと。カートの交換や台車上での箱詰めで、体への負担も抑えられ、スピーディに行えたこと。

・ママたちは、みなさん、沢山のご寄付の物品、贈答用のものなど、ワクワクして選ばれていました。また、寄付者の名前が見えることで、「こんなに応援してもらえている」と感じている方もおられました。 野菜を切ってラップしたり、バナナを小分けして袋に入れたりしたのは、取りやすくて良かったと思う。 時間がタイトだったので、タイマーを使用したのは良かったと思う。 学生さんがついて回ってくれたのは、とても助かった。学生さんも慣れてくると、周りが見えて段取り良く段ボール詰めをしてくれたり、ママの荷物を預かったりしてくれた。

・学生ボランティアが荷物を運んでくれたこと。 事前にある程度、箱詰めできたこと。 時間が限られていたこと。

・買い物かごを活用したカート?が使いやすくて良かったです。

・かごがいっぱいになった時に予備のかごがあったことが良かったです。

・時間枠ごとに補充する商品が分けられていて、出しても良い量の目安が分かりやすかったです。

・沢山の寄付があったので、ママ達も自分に必要な物を選択出来ることが良かったのではないでしょうか。

・2かごを目安に選んで貰ったのは、ママ達も目安がわかってよかったと思う ・スタッフ・ボランティアが常に『今 自分に出来ること』を見つけながら、動いてくれていたことがよかった。

・買い物カートがあったこと

第 1 グループ・第 2 グループを待っている「フードドライブ」の準備

フードドライブ・相談について、改善すればもっと良くなる点は？

・15 分の時間枠を用意していたつもりだったが、実際移動時間も含めると 10 分足らずの時間しかなく、相談員さんは立ち止まってゆっくり話を聞くことができなかったかなと思う。
・ながら相談をはじめ、今回はこの対応で精一杯だったように感じます。 強いて言えば、品物を補充したあとのダンボールや空き箱などが見た目にすっきりしていれば、雑然とした感じが減らせたかもしれません。
・こんな状況なのでやむを得ないが、10 分はかなり急ぎ足だった。15分あればもう少し話をしながら様子も聞けたかもしれない。どんなものが必要かは、アンケートに入れてもいいかと思った。 聞き取り票は、バインダーにはさむと上が見えにくくなるので、名前をもう少し大きくしてもらうと探しやすいです。 フードドライブの記録票は書きやすかったです。
・時間が限られた中では、近況を聞く程度になる。 事前アンケートもあるが、参加者には、事前に電話相談を設けてもいいのかと思う。 フードドライブはフードドライブに集中した方がいいと思う。
・食品などはグループ毎に大まかな目安で分けていたので、最後に物品が無くなる心配はなかった。が、果物・野菜・タオル類などは全て並べていたので、後半のグループの人には選択の幅がなかったかも。日用品は午前の部と午後の部に分けていたので、果物・野菜・タオル類は分けておけばよかった。

キッチン側には、布団・シーツ類や、
日用品、野菜や果物が並びました。

その他、運営などについてよかった点は？

・ママたち一人一人のプログラムが事前に決まっていたため、今年はスケジュール表がわかりやすかったこと。受付で案内する係の表情や声掛けが、とってもウェルカムな雰囲気で、一人一人に丁寧に説明をしてくれていたこと。議員さんの接待用のテーブルに可愛いお花が準備されていたこと。コロナ対策として、事前の聞き取りができたことや、当日用のチェック用紙も準備されていたこと。2 週間以内に陽性となった人の連絡用紙も準備されていたこと。お弁当をレストランまで取りに行く井予定だったが、当日は持って来てもらえたこと。施術の先生方が、ママたちにとても真摯に寄り添ってくださったこと。議員さんからのメッセージを階段の壁に掲示したこと。などなど。
・信頼と連携！優れたチームワークです。
・事前準備も含めて、とても大変だったと思います。ありがとうございました。
・一人一人に時間設定ができていたこと。
・受付はもともと二人だったけど、シミュレーションで手が回らないことが判明して、他の担当の人が急遽受付を担当してくれることになり本当に助かりました。担当の仕事しかしないのではなくて、皆が柔軟な対応ができていたことが良かったです。
・コロナ禍での開催で人が密にならないよう、時間を区切って託児やフードドライブを行うスケジュールがよく考えられていて良かったです。
・こどもステーション事務所での開催は初めてでしたが、以前と比べて会場が狭い分、どこの部署の様子もみれました。各担当者との連携も取りやすかった。物品が必要になってもすぐに対応が出来、ロス時間がなかったと思う。個人的には『こどもステーションでの開催もありかな』と思いました。 今回近隣のお寺さんにお供えなどのご寄付の依頼が出来たことはよかった。 案内など送る作業は大変だったと思いますが、そのお陰で寄付の物品が沢山集まりました。
・参加者以上にスタッフが楽しんでしていたこと

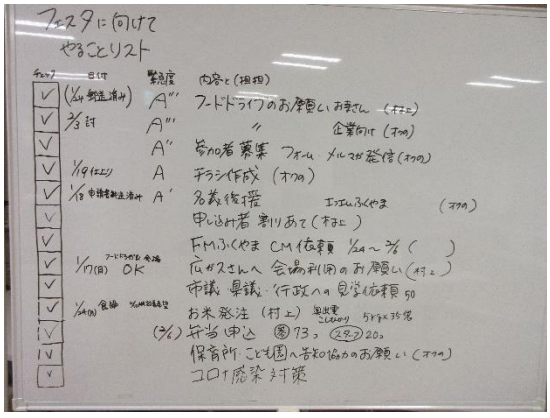
その他、運営などについて、改善すればもっとよくなる点は？

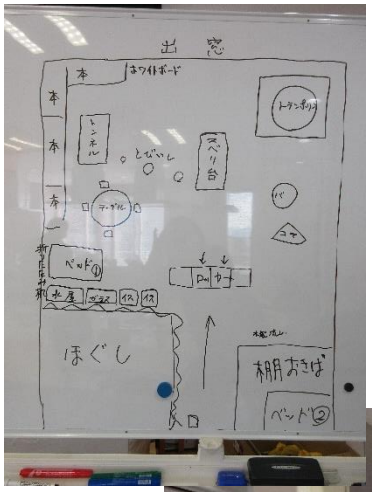
・訪問してくださった市議会議員さんの「しんママへのメッセージ」がちょうど印刷し忘れていて、お礼を言おうと思ったら、それが掲示されていなかったこと。本当に慌てました。
・2 階に上がって、「もこルームではからだほぐし」「相談室ではバッチフラワーレメディー」をしていることがわかりにくかったみたいだ。階段で立ち止まって考えたり、一階までまた戻って聞きに来るママが居たそうだ。表示の工夫が必要でした。
・フェスタに限らず、どの支援においても、細かな振り返りの中から改良を重ね、その時の最善を尽くしていると思います。
・スタッフに事前に振り分けることが出来る事は振ってくださいね。
・コロナが収束していれば、神辺市民交流センターが、年に 1 度の特別なフェスタらしくて良いと思います。

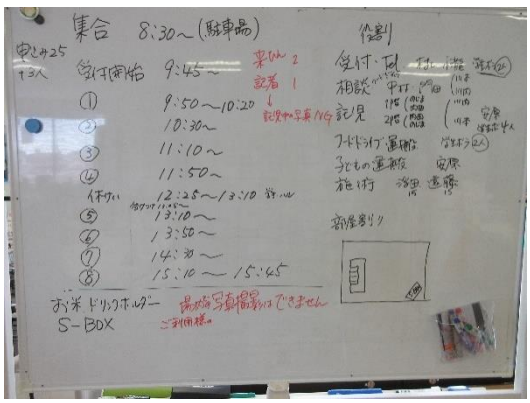
事前準備・実行委員会についてよかった点は？

・コロナ対策や、写真撮影のルールなどについても皆で話し合って確認することができたこと。役割分担や配置図についても皆が納得できるものを作り上げることができたこと。フェスタには参加できずに、「もこちゃんパック」のみを希望している方のために、ご寄付いただいた食品群の中から、事前に食品をピックアップして取り除いておいてくれる配慮があったこと。「すべてなくなっても大丈夫」という安心感がありました。
・当日開始前には、シュミレーションを行い、スタッフの動きまで確認することができたこと。そこで急遽変更する事柄が発生したが、どんどんより良い形が出来上がっていったこと。
・実行委員会での話し合いと共有が、スムーズな準備につながったこと。 例年のような会場移動がなかったので、準備が楽だったこと。 一連の流れをシミュレーションしたこと。
・流れの確認とシュミレーションができたのは良かったです。
・時間設定や部屋割り等、細々と打合せできていたと思う。
・「もし～があったら」を皆で話し合えたことが良かったです。
・参加できるスタッフ全員が、しんママフェスタに向けて、情報共有出来たこと。 全体像が分かりやすかった。そして話す中で、もっとやり易い方法など、改善点も話すことで、見つけることが出来、よりよいものに変わっていった。

事前準備・実行委員会

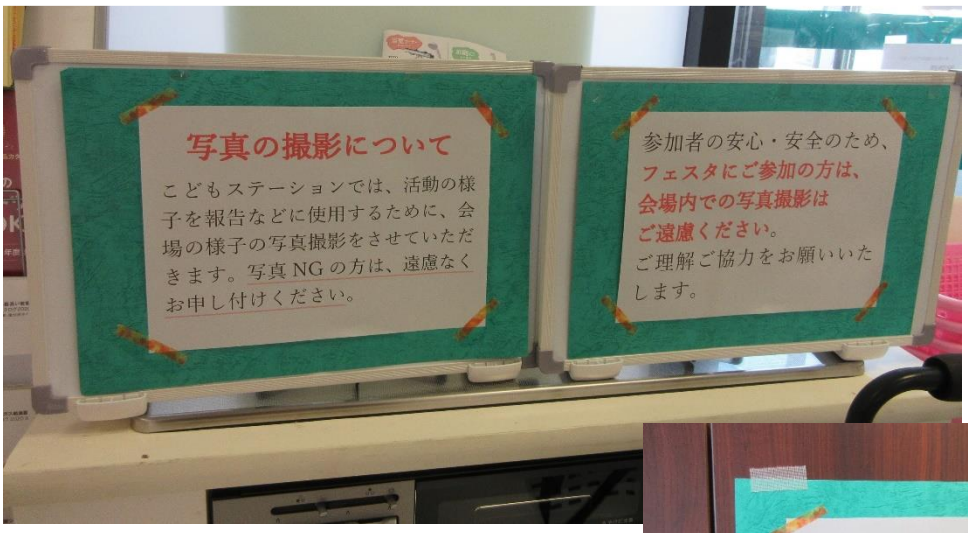


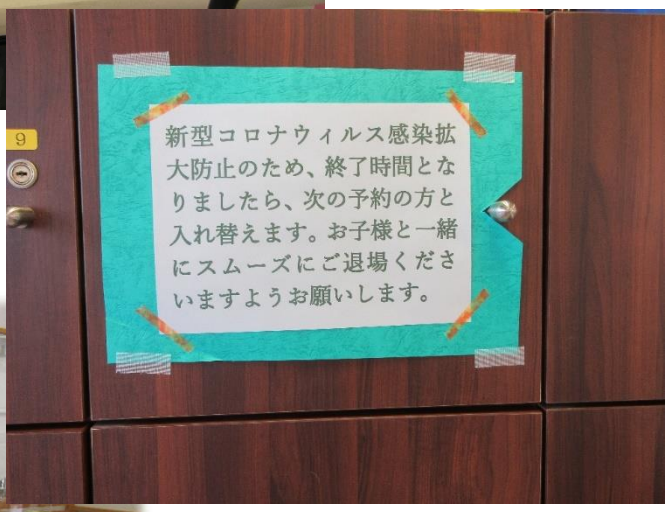




2 月　9 日(水)　14:00～16:00
2 月 11 日(金祝)13:00～14:00

最終作業 2 月 11 日(金祝)14:00～16:00





アクセサリーワークショップ　S-BOX

バッチフラワーレメディ　浮田明子さん

からだほぐし　遠藤哲子さん

福山市や国の「ひとり親家庭支援施策」について

・「離婚済み」の家庭には用意されているさまざまな支援施策が、まだ離婚できていない別居中の家庭に行き届いていない。DV のあった家庭が離婚に向かうとき、安全な場所に暮らすためには、まず別居することが重要です。別居中に協議や調停で離婚手続きを進めていく際、DV 家庭は特に話し合いがスムーズに進まないことが多く別居が長引きます。別居中から「児童扶養手当」が受給できるようにすることを早急に進め、その他の支援策も受けられるようにしてほしい。

・DV 等の暴力の影響により、疲弊しているひとり親や子どもたちのために、中長期的に支援していく機関が必要です。自立支援が就労支援だけではなく、心のケアを含めた支援になっていくように取り組んで欲しい。母親が安定して来れば子どもも安定してくることが多いです。子どもの健全育成を願うのであれば、子どもを支援する母親をまず初めに支援することが行政の責務ではないでしょうか。もちろん、子どものことも置き去りにしないで欲しい。ダメージを受けた子どもも、適切な支援があることでその子本来の力を取り戻していくはずです。

・面会交流支援が、民間の力だけでは限界です。面会交流支援は、DV 被害者ケアと子どものトラウマケアの視点で取り組むことが重要です。その資質を兼ね備えた支援員の育成と、支援場所の確保に力を貸してほしいです。

・福山市には母子生活支援施設の再建を是非ともお願いしたい。 また、高まる面会交流支援の需要に対応できるよう、場所と支援員の確保をしていただきたい。

・国が提案している「ひとり親家庭支援施策」に福山市が追い付いていない。そのことを理解していない・課題としていないことが問題。福山市は、「ひとり親家庭支援施策」として、福祉関係の生活困窮、虐待、母子、DV、障がいの課題に向き合ってほしい。「ひとり親家庭支援施策」の福祉面は、専門職員の配置が薄く、当事者や現場の声を聴き施策検討することが機能していないことが多いのではないか。

・「ひとり親支援」はネウボラになっているが、ネウボラが縦割りで“ワンストップ支援”になっていない。

・ 母子・父子自立支援センターは、実質、就労支援のみになっていて、離婚前後支援、 養育費確保、面会交流など 実態に合った伴走型支援になっていない。

・「ひとり親家庭支援」にDV被害者視点がない。

・今年度、官民連携の若年層支援の強化は、ひとり親家庭にも関連することだが認知されていない。

・制度案内だけでは、ひとり親支援に繋がらないと思う。 児童扶養手当の上限はなくしてほしい。

・コロナ禍だから、生活が大変なわけではない。元々ギリギリで生活している人がほとんど。 特別給付金などの支援もとてもありがたいことではあるが、常時支援が出来る項目を作って欲しい。 例えば、家賃補助→市営住宅などに入居する為の抽選回数が増えるだけではなく、補助があれば、民間の賃貸住宅でも入居可能となり、利便性の良いところの選択も広がる。

・議員さんの参加は2名だったけど、有効な議会質問、施策提言をしてもらうためにサポートしたい。

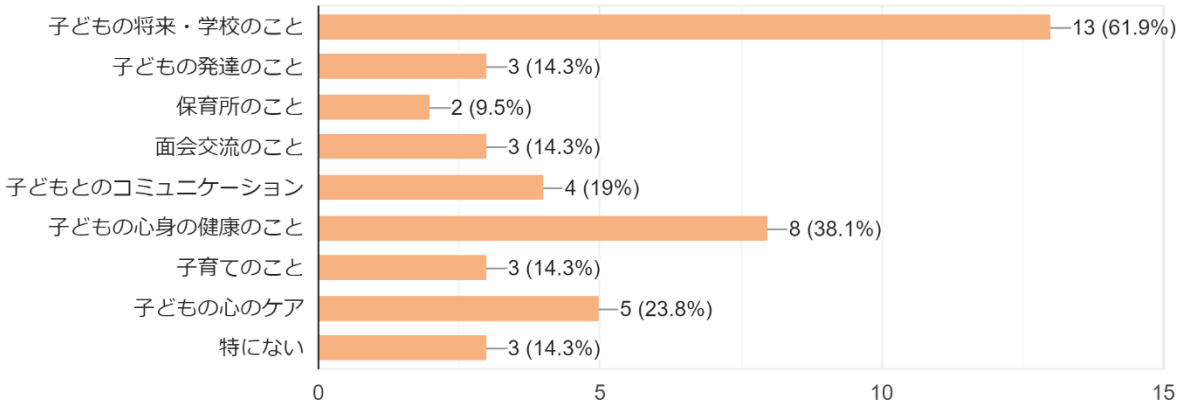
・報道取材は、イベント紹介に終わらず、当事者や私たちの声を届けてほしいし、行政や議会にも積極的に取材して、福山市がどのような状態か、他の中核市はどうなのかといったことまで掘り下げた記事を是非書いてほしいです。

しんママフェスタはこれからも継続していきたい。このようなイベントに市や国が補助してくれることを願います。『だれ一人取り残さない』ためにも。

申込の際のアンケートより

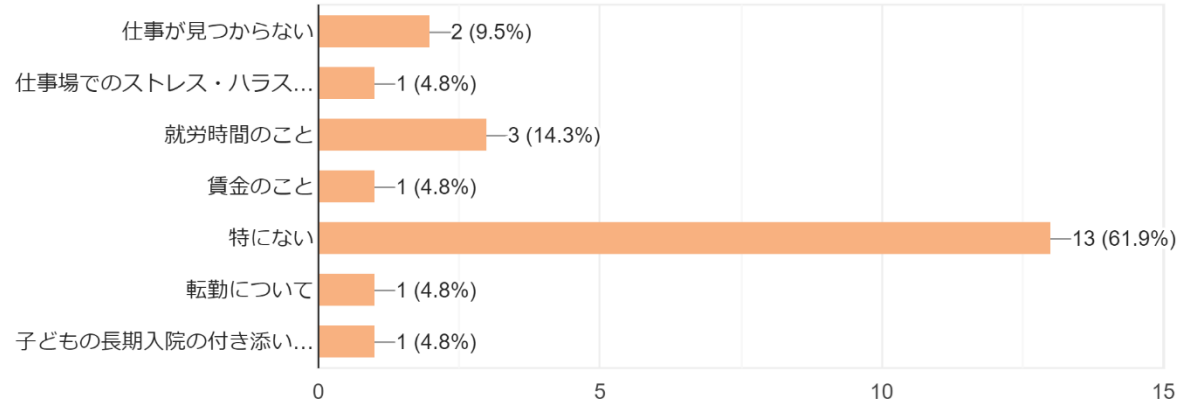
「子どものこと」で、あなたが今悩んでいること・困っていることは何ですか？

21 件の回答



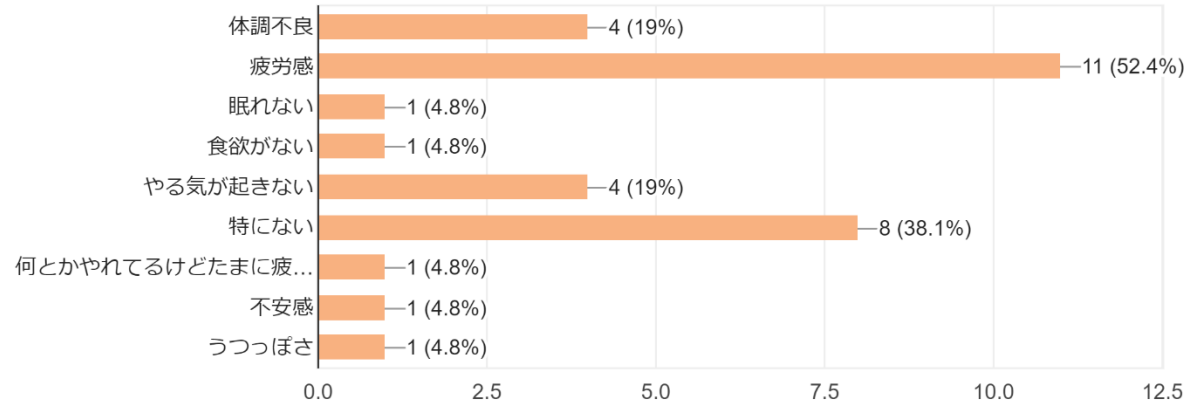
「就労関係」であなたが今悩んでいること・困っていることは何ですか？

21 件の回答



「健康」のことであなたが今悩んでいること・困っていることは何ですか？

21 件の回答



フェスタを振り返って

2021年度、「第4回 しんぐるまざぁずフェスタ in ふくやま」を無事に開催することができました。助成していただいた、独立行政法人福祉医療機構（WAM）様には、心より御礼申し上げます。

新型コロナウィルスが未だ終息しない中、世界の情勢がただならぬ雰囲気になり、心穏やかに過ごせる春の訪れを待ちわびています。ひとり親家庭の暮らしに明るさが見えてくるのはもう間もなくと信じて、日々の支援に取り組んできました。

今年のフェスタも、多くのみなさまのご協力により、大成功で終えることができたのではないかと感じています。

たくさんの食品支援、からだほぐし・バッチフラワーレメディ・アクセサリーワークショップ企画、ボランティアの学生の活躍、議員の方々のメッセージ、会場を快く貸してくださった広島ガス東中国(株)様のご支援、そして何よりもママや子どもたちの笑顔が、それを物語っています。

いつもの会場がコロナワクチン接種会場となり、急遽会場を変更するなど、ハプニングもありましたが、スタッフの知恵と工夫、参加されたママたちの協力により、無事に乗り切ることができました。

今年のフェスタを実施する上で感じた、これまでのフェスタとの違う点は、ママたちが確実に力をつけている、いえ、本来持っていたママ自身の力を取り戻しているということです。今回のフェスタでは、参加人数を先着順で制限したこともあって、参加者は継続的にこどもステーションの企画に参加されている方がほとんどでした。そのためか、ママたちがこの逆境にめげずに力強く生きている様子がアンケートの中からも見えてきました。

それは、経済的には苦しい状況にあっても、「自分は一人ぼっちではない」「手を伸ばせば助けてくれる仲間がいる」と感じる場があることの重要性を意味しているのではないかと捉えています。

この実施報告書を通じて、ひとり親家庭への施策が高まっていくことを願っています。

ママと子どもたちが心から安心して健康に過ごすことができますように、これからもシングルマザー家庭のそばに寄り添っていきたいと思っています。

皆様の幸せを願って

2022 年 3 月 28 日

第 4 回 しんぐるまざぁずフェスタ in ふくやま実行委員会
NPO 法人こどもステーション
理事長　奥野しのぶ

シングルマザー
わたしたちの生きる宣言

1

わたしたちは、
シングルマザー家族がひとつの家族の形だと考え、
誇りをもって生きていきます。

2

わたしたちは、離婚、未婚・非婚、死別、DV そのほか
いかなるいきさつがあっても、
おなじように生き方を尊重したいと考えています。

3

わたしたちは、
母親として子どもたちを大切にすると同時に、
わたしたち自身も大切にしていきます。

4

わたしたちは、
ひとりだけでものごとを解決するのではなく、
必要なときに助けを得て生きていきます。

5

わたしたちは、同じ立場のなかまと出会うなかで、
つながり元気をわかちあいたいと思っています。

みいこさんによるイラスト AC からのイラスト

シングルマザー わたしたちの生きる宣言

1 **わたしたちは、シングルマザー家族がひとつの家族の形だと考え、誇りをもって生きていきます。**

◉ひとり親家族は多様な家族の中でひとつの家族のかたちです。
◉自分のこれまでの人生で、与えられた条件の中でよくやってきたことを十分に認めたいと思います。

2 **わたしたちは、離婚、未婚・非婚、死別、DV そのほかいかなるいきさつがあっても、おなじように生き方を尊重したいと考えています。**

◉すべての生きづらさをかかえている人々が生き生きくらせる社会をつくるために、応援のしくみや場を増やすことに貢献したいと思います。

3 **わたしたちは、母親として子どもたちを大切にすると同時に、わたしたち自身も大切にしていきます。**

◉子どもは大切な存在。でも子どもだけが大切なのではなくて母親であるわたしたち自身を大切にしていくことが、子どもたちを大切にできることにつながります。

4 **わたしたちは、ひとりだけでものごとを解決するのではなく、必要なときに助けを得て生きていきます。**

◉助けが必要だからといってかわいそうな人ではありません。
◉へこむこともあるけれど、子どもたちとともに、前に向かって、一歩ずつ歩んでいきます。

5 **わたしたちは、同じ立場のなかまと出会うなかで、つながり元気をわかちあいたいと思っています。**

◉仲間がいることで元気になれる、情報も得られる、子どもたちにも楽しい場ができます。
◉わたしたちは必要な情報をえて、自分が大切にしたいことを自分で選択できるようになりたいと思っています。

2019年7月7日、シングルマザーサポート団体全国協議会キックオフ・ミーティングにて発表

特定非営利活動法人 こどもステーション

〒720−2104
広島県福山市神辺町道上 2862-1 広島ガス東中国(株)ショールーム「ハートラボ」内
TEL&FAX／084−965−6625
E-MAIL／info@kodomostation.or.jp　　HP http://kodomostation.or.jp